

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2006年3月9日 (09.03.2006)

PCT

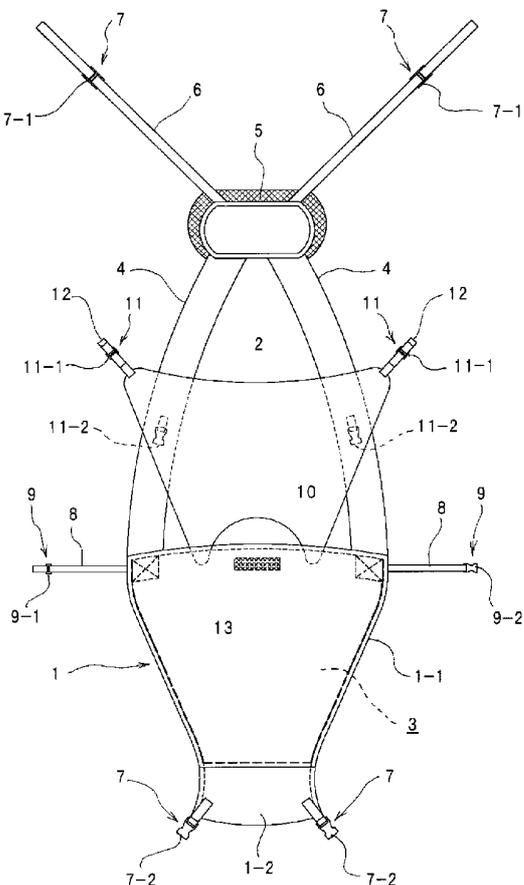
(10) 国際公開番号
WO 2006/025126 A1

- (51) 国際特許分類⁷: A47D 13/02
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2005/001205
- (22) 国際出願日: 2005年1月28日 (28.01.2005)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願2004-250295 2004年8月30日 (30.08.2004) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 日本エイテックス株式会社 (NIHON EIGHTEX KABUSHIKI KAISHA) [JP/JP]; 〒1130022 東京都文京区千駄木 4-1 1-1 0 Tokyo (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 八木澤 誠 (YAGISAWA, Makoto) [JP/JP]; 〒1130022 東京都文京区千駄木 4-1 1-1 0 日本エイテックス株式会社内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 細井 貞行, 外 (HOSOI, Sadayuki et al.); 〒1120001 東京都文京区白山 5 丁目 1 4 番 7 号 早川ビル Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR),

[続葉有]

(54) Title: BABY CARRIER

(54) 発明の名称: ベビーキャリア



(57) Abstract: A baby carrier, comprising a head support for supporting the head of an infant from the outside while holding, face to face, the infant with shoulder belts. An upwardly opening storage part (3) is formed at the back rest part (1-1) of a carrier body (1). The bottom side of the head support (2) formed of a soft sheet fabric is fitted to the storage part (3) near an opening part so that the head support (2) can be extracted from and stored in the storage part (3). Connection devices (11) disengageably connected to the shoulder belts (4) are fitted to both upper end sides of the head support (2). Accordingly, the head support can be stored in the storage part when not in use, and when the infant starts to doze, the head support can be taken out from the storage part at the back rest part, and the upper end side thereof can be connected to the shoulder belts with the connection devices on both sides. As a result, the baby carrier can be immediately brought into a use state in which the head of the infant is supported from the outside.

(57) 要約: 肩掛けベルトによって幼児を対面抱っこで保持しつつ、幼児の頭を外側から支えるためのヘッドサポートを備えるベビーキャリアであり、キャリア本体1の背当て部1-1に上部開口の収納部3を備えると共に該収納部3の開口部近傍に、柔軟なシート地からなる形成されるヘッドサポート2の下端側を取り付けて同ヘッドサポート2を前記収納部3に入れ収納自在と成し、同ヘッドサポート2の上端両側には肩掛けベルト4に係脱自在に連結する連結具11を備えることにより、ヘッドサポートを使わない時に収納部に収納保管しておくことができ、そして、幼児が居眠りを始めた時には背当て部の収納部からヘッドサポートを取り出し、その上端側を、両側の連結具によって肩掛けベルトに連結することにより、幼児の頭を外側から支える使用形態に即座に対応させることができる。

WO 2006/025126 A1



OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML,
MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告書

規則4.17に規定する申立て:

— すべての指定国のための出願し及び特許を与えられ
る出願人の資格に関する申立て (規則4.17(ii))

2文字コード及び他の略語については、定期発行される
各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語
のガイダンスノート」を参照。

明 細 書

ベビーキャリア

技術分野

[0001] 本発明は、肩掛けベルトによって幼児を対面抱っこで保持しつつ、幼児の頭を外側から支えるためのヘッドサポートを備えるベビーキャリアに関する。

背景技術

[0002] 従来から、乳幼児等の頭を支えるヘッドサポートを備えるベビーキャリアは、種々対応の商品が開発され、提案されているが、何れの商品もヘッドサポートが着脱自在に設けられており、使用するに際しては背当て部に装着する等の取り付けが必要となつて、即座に対応させることができないものとなっている(例えば特許文献1)。

[0003] 因みに、ヘッドサポートは、首が十分に座っていない生後間もない乳幼児等を対面抱っこする等場合には頭を外側から支えるように常時使用されるものである。

一方、首が座った幼児においては幼児が起きている間は使用しない傾向がある。つまり、ヘッドサポートは幼児の頭を外側から支えるために使用されるものであるが、首が座った幼児に対し継続して使用すると、窮屈な圧迫感等を幼児に与えたり、頭を自由に動かすことを拘束したり、視界を狭める等から、幼児が起きている間は使用しないことが多い。そして、眠った場合等には頭を外側から支えるように使用される傾向がある。

[0004] 即ち、特許文献1に開示されているヘッドサポートは、その下端側に、背当て部の上部等に設けられている係止突起に係脱自在に係着させる止め輪を設けることによつて、背当て部に対し着脱自在と成し、そして、上端側に設けられている補強ベルトを、肩掛けベルトに連結具を介して係脱自在に連結させることによつて、対面抱っこの幼児の頭を外側から支えられるようにしている。

従つて、従来では、ヘッドサポートを背当て部に取り付けるに際して、抱っこした状態ではヘッドサポートの止め輪を、背当て部の係止突起に取り付けることができないために、使用者は一旦ベビーキャリアを外さなければならないと言つた使い勝手が非常に悪いものとなつていた。

[0005] この様に、従来のヘッドサポートは、ベビーキャリアへ取り付けたり、取り外したりする着脱が面倒で、幼時が眠った時等に即座に対応させることができないものとなっていた。

尚、使用しない時にヘッドサポートを背当て部から取り外さずに、その内側や外側に垂らした状態とすることも考えられるが、背当て部の内側に垂らした状態にすると、幼児の尻や背中によって下側に引っ張られることが繰り返されて短期間で破れる等の損傷を起す原因になる。他方、外側に垂らした状態にすると、見てくれが悪くなる等、好ましいものとはならない。

[0006] 特許文献1: 実用新案登録第2576775号

発明の開示

発明が解決しようとする課題

[0007] 本発明が解決しようとする課題は、対面抱っここのままで容易且つ即座にヘッドサポートを使用対応状態とすることができ、しかも、不使用時においてはキャリア本体に収納保管し得るように改良されたヘッドサポート付のベビーキャリアを提供することにある。

課題を解決するための手段

[0008] 上記課題を解決するために本発明は、請求項1では、肩掛けベルトによって幼児を対面抱っこで保持しつつ、幼児の頭を支えるためのヘッドサポートを備えてなるベビーキャリアにおいて、キャリア本体の背当て部に上部開口の収納部を備えると共に、該収納部の開口部近傍に下端側を取り付けて同ヘッドサポートを前記収納部に出し入れ収納自在と成し、

前記ヘッドサポートは、柔軟なシート地から形成され、上端両側には肩掛けベルトに係脱自在に連結するための連結具が備えられていることを特徴とするベビーキャリアにある。

ここで、ヘッドサポートを形成する柔軟なシート地は、幼児の頭に優しく通気性に優れたメッシュ等からなる内側素材と適度の保形性と撥水性に優れたナイロン等からなる外側素材との合わせ生地又はメッシュ単体からなり、幼児の頭を包み込む程度の大きさを有する適宜の形状に形成され、その下端側が、背当て部に備えた収納部の

開口部近傍に縫着されることによって、ヘッドサポートがキャリア本体に取り付けられるようにしている。

また、ヘッドサポートを肩掛けベルトに係脱自在に連結するための連結具としては特に限定されるものではないが、雄雌一対からなるバックル、又は肩掛けベルトを挟み込むように挟着する上顎と下顎からなる挟持体等が挙げられる。

[0009] そして、上記収納部は、背当て部の表面に、同背当て部の上縁側を除くその周縁に沿ってシート地を縫着することによって、背当て部の表面側に形成することが好適なものとなる(請求項2)。

[0010] また、上記ヘッドサポートは、下端側を収納部の開口部内に取り付けることが好適なものとなる。そして、ヘッドサポートを収納部から取り出して上端両側を肩掛けベルトに連結した時に、背当て部より上方に突出する下端側部分に適宜の大きさで上向きに挟られた開口部を設ける。例えば上向き略半円状に挟られた開口部を設けて、幼児の肩から首筋等が露出するようにすることが好適なものとなる(請求項3及び請求項4)。

[0011] 更に、請求項5では、上記両側の肩掛けベルトは、その一端側をキャリア本体の背当て部の上縁両側に縫着連結すると共に他端側をキャリア本体の尻受け部の両側に連結ベルト及び連結具を介して係脱自在と成し、且つ連結ベルトと肩掛けベルトとの間には使用者の背中略中央部位に当る背当てパットが備えられ、この背当てパットを介して両側の肩掛けベルトと両側の連結ベルトとが使用者の前記背中略中央部において略X状に交叉するように縫着連結されていることを特徴とするベビーキャリアにある。

発明の効果

[0012] 本発明の請求項1記載によれば、ヘッドサポートを使わない時には収納部に収納保管しておくことができる。そして、幼児が居眠りを始めた時には収納部からヘッドサポートを取り出し、その上端側を、両側に備えた連結具によって肩掛けベルトに連結することで、幼児の頭を外側から支える使用形態に即座に対応させることができる。

つまり、従来品のように、キャリア本体を使用者から一旦外して、ヘッドサポートを取付けなければならないと言った面倒で煩わしいことを一切せずに、幼児を抱っこした

ままで、ヘッドサポートを使用形態に即座に対応させることができ、使い勝手が大幅に改善された利便性の高いヘッドサポート付のベビーキャリアを提供することができる。

[0013] また、請求項2記載によれば、上記請求項1記載の作用に加えて、収納部は、キャリア本体の背当て部の表面に取り付けるシート地の縫着により、背当て部の表面側に簡単に形成することができる。

[0014] また、請求項3及び請求項4記載によれば、ヘッドサポートの使用時において幼児の肩から頭全体をすっぽりと覆うことなく、肩から首筋等を開口部にて露出させることができることで、通気性を良好ならせしめ、蒸れたりすることがない快適な状態で幼児を対面抱っこすることが可能になる。

[0015] 更に、請求項5記載によれば、上記の各作用に加えて、背当てパットが両側の肩掛けベルトに掛かる幼児の荷重負担を分散する役目を成し、これにより、肩掛けベルトが肩に食い込むことを和らげる等の使用者の肩への負担を軽減する作用効果が得られる。

しかも、背当てパットが両側の肩掛けベルトと両側の連結ベルトとを使用者の背中中央部位において略X状に交叉させるように両ベルトを連結することから、キャリア本体の装着安定性を図ることができる。

つまり、幼児が動いてもキャリア本体が左右にズレ動く等の不安定な状態を防いでキャリア本体の装着安定性を図ることができる。それによって、幼児との密着感を高めて安定性の良い状態で対面抱っこすることができる。

発明を実施するための最良の形態

[0016] 本発明の最良の実施形態を図1～図6Bに基づいて説明する。

実施例 1

[0017] 図1は、本発明ベビーキャリアの実施形態の一例を示し、1はキャリア本体、2はヘッドサポート、3は収納部である。

[0018] キャリア本体1は、周知の素材、例えば裏地として通気性に優れたディンプル生地を用いてその表面に宛がわれる撥水性に優れたシート地(表面シート地)とによって適宜の大きさに縫着形成される背当て部1-1と、この背当て部1-1の下端から連設さ

れる尻受け部1-2とで構成された周知の構造形態を成し、背当て部1-1の上縁両側には2本の肩掛けベルト4の一端側が夫々縫着によって取り付けられている。

[0019] 肩掛けベルト4は、キャリア本体1と同じ素材によって適宜の幅を有する帯状に形成され、その他端には使用者の背中に当る背当てパット5が縫着されて取り付けられている。

そして、背当てパット5には2本の連結ベルト6の一端が縫着によって取り付けられており、この連結ベルト6は、キャリア本体1の尻受け部1-2に連結具7によって係脱自在に連結されるようにしてある。

[0020] 背当てパット5は、図1及び2、図4及び図5に示すように、材質が異なる数枚の積層部材を重ね合わせて縫着せしめてなる扁平な略小判形状を呈する適宜の大きさに形成され、その一辺縁側に両側の肩掛けバンド4が、他辺縁側に両側の連結バンド6が夫々縫着によって取り付けられるようにしてある。

[0021] この背当てパット5の材質として特に限定されるものではないが、本例では使用者の背中に当る裏地材5-1として通気性に優れたディンプル生地等を用い、この裏地材5-1の内側にウレタンフォーム等の各種の発泡ウレタン、綿、フェルト等の緩衝材5-2を用い、そして、この緩衝材5-2の表側に芯材5-3として適宜の剛性を有するプラスチック板等を用い、更にこの芯材5-3の表面に装飾性等を兼ねる表面布地5-4を用いてこれらを周囲縁全周に取り付ける布やその他の素材からなる縁取りテープ5-5を介して重合縫着せしめてなるものを例示することができる。

[0022] 連結具7は、図示のように、雄雌一对のバックル7-1、7-2からなり、雄側バックル7-1は、上記連結ベルト6に夫々備えられ、雌側バックル7-2は、キャリア本体1の尻受け部1-2の両側に夫々備えられて、肩掛けベルト4と連結ベルト6とを係脱自在に連結し、これによって、キャリア本体1が使用者の前面に、幼児を対面抱っこし得る状態に保持されるようにしてある。

尚、雄側バックル7-1に対して連結ベルト6は、ベルト長さが任意に調節されるように取り付けられている。即ち、使用者の体格に合わせてベルト長さを自在に調節できるようにしてある。

[0023] また、本例では図示のように、幼児の上半身に巻き止める補助ベルト8を背当て部

1-1に取り付けて、幼児の上半身を包み込むように保持する背当て部1-1とによって幼児を一体に且つより一層安全に保持することができるようにしている。

尚、この補助ベルト8は、その長さ方向の中間部においては連結具9によって分離係脱可能に形成している。

[0024] 連結具9は、雄雌一対からなるバックル9-1, 9-2であり、雄側バックル9-1に対して補助ベルト8はベルト長さが任意に調節されるように取り付けられている。即ち、幼児の体格に合わせてベルト長さを自在に調節し得るように形成されている。

[0025] この様に構成されているキャリア本体1に取り付けられるヘッドサポート2は、幼児の頭に優しく通気性に優れたメッシュ等からなる内側素材と適宜の保形性と撥水性に優れたナイロン等からなる外側素材との合わせ生地から周囲に沿って縫着されることで、幼児の頭を包み込む程度の大きさで、下端縁側を狭く、上端縁側を広くした略逆台形状に形成され、図3に示すように、下端縁の両側がキャリア本体1の背当て部1-1に形成される収納部3の開口部内に縫着されることによって、キャリア本体1に取り付けられるようにしている。

[0026] そして、キャリア本体1に縫着により取り付けられるヘッドサポート3の下端縁の両側を除くその中央部位を適宜の形状にて上向きに抉る。例えば適宜大きさの略半円状等に抉るように開口せしめることによって、ヘッドサポート2を収納部3から取り出して上端両側を肩掛けベルト4に連結した時に幼児の肩から首筋等が露出するようにしている。

この様に、ヘッドサポート2の下端縁の一部に開口部10を設けることによって、通気性を良好ならせしめ、蒸れたりすることがない快適な状態で幼児を対面抱っこすることが可能になる。加えて、ヘッドサポート2は、通気性に優れたメッシュ等からなる内側素材と適宜の保形性と撥水性に優れたナイロン等からなる外側素材との合わせ生地からなることで、汚れが落ち易く、洗濯等によるお手入れも簡単にできる。

[0027] また、ヘッドサポート2の上端縁両側には肩掛けベルト4に係脱自在に連結支持させる連結具11が備えられており、この連結具11により幼児の頭を支えるようにヘッドサポート2が定形保持されるようにしている。

[0028] 連結具11としては特に限定されるものではないが、脱着操作性や確実性等を考慮

するならば、雄雌一対からなるバックル11-1, 11-2が挙げられる。

そして、雌側バックル11-2は両肩掛けベルト4に直接的に夫々取り付けられると共に、雄側バックル11-1はヘッドサポート2の上端両側に補助ベルト12を介して夫々取り付けられ、ヘッドサポート2を肩掛けベルト4に簡単且つ容易に連結して確実に保持させることができる一方で、その連結状態を簡単に解除することができるようにしている。

[0029] 尚、図示のように、雄側バックル11-1に対して補助ベルト12は、ベルト長さが任意に調節されるように取り付けられており、幼児の体格(頭の大きさ)に応じてヘッドサポート2の肩掛けベルト4へ対する連結長さ寸法を自在に調節できるようにしてある。

[0030] ヘッドサポート2を収納保管する収納部3は、背当て部1-1の上縁側を除くその周縁に沿って保形性と撥水性に優れたナイロン等からなるシート地を縫着することによって、背当て部1-1の表面側に、上部開口の袋状に形成されるものである。

そして、収納部3の開口部内における背当て部1-1の表面とシート地の裏面とはベルベットファスナー(面ファスナー)、ホック、ファスナ等からなる閉じ手段13、図示例ではベルベットファスナー13-1, 13-2が備えられており、収納保管されているヘッドサポート2が不用意に飛び出したりしないように収納部3の開口部を閉じることができるようにしてある。

[0031] 而して、以上の如く構成された本例のベビーキャリアによれば、ヘッドサポート2を使わない時には図6Aに示すように、収納部3に収納保管しておくことができる。

そして、幼児が居眠りを始めた時には図6Bに示すように、収納部3からヘッドサポート2を取り出し、その上端両側に備えられている雄側バックル11-2を、肩掛けベルト4に備えられている夫々の雌側バックル11-1に連結することで、幼児の頭を外側から支えるようにヘッドサポート2を定形保持させることができる使用形態に即座に対応させることができる。

[0032] 尚、本考案の具体的な実施例にあつては、前述の実施例構成に限定されるものではなく、請求項1〜5記載の要旨を免脱しない範囲で種々変更して行うことができるのである。

産業上の利用可能性

[0033] 以上のように、本発明のベビーキャリアは、ヘッドサポートを使わない時には収納部に収納して保管しておく、そして、幼児が居眠りを始めた時にはヘッドサポートを収納部から取り出し、サポートの上端側を、両側に備えた連結具により肩掛けベルトに連結することによって、幼児の頭を外側から支える使用形態に即座に対応させることができるものであり、特に幼児を対面抱っこしたままで、ヘッドサポートを収納部に収納したり、使用形態に容易且つ即座に対応させることができる。

図面の簡単な説明

- [0034] [図1]本発明ベビーキャリアの実施形態の一例を示す正面図
[図2]同背面図
[図3]同要部の拡大図で、収納部の開口部を開いた状態を示す
[図4]収納部内にヘッドサポートを収納させた状態を示す正面図
[図5]肩掛けバンドと連結バンドとを連結する背当てパットを示す縦断面図
[図6A]キャリア本体を着用せしめた使用状態の斜視図で、ヘッドサポートを使わないで収納部の収納保管している状態を示す
[図6B]ヘッドサポートを使用している状態を示す同斜視図

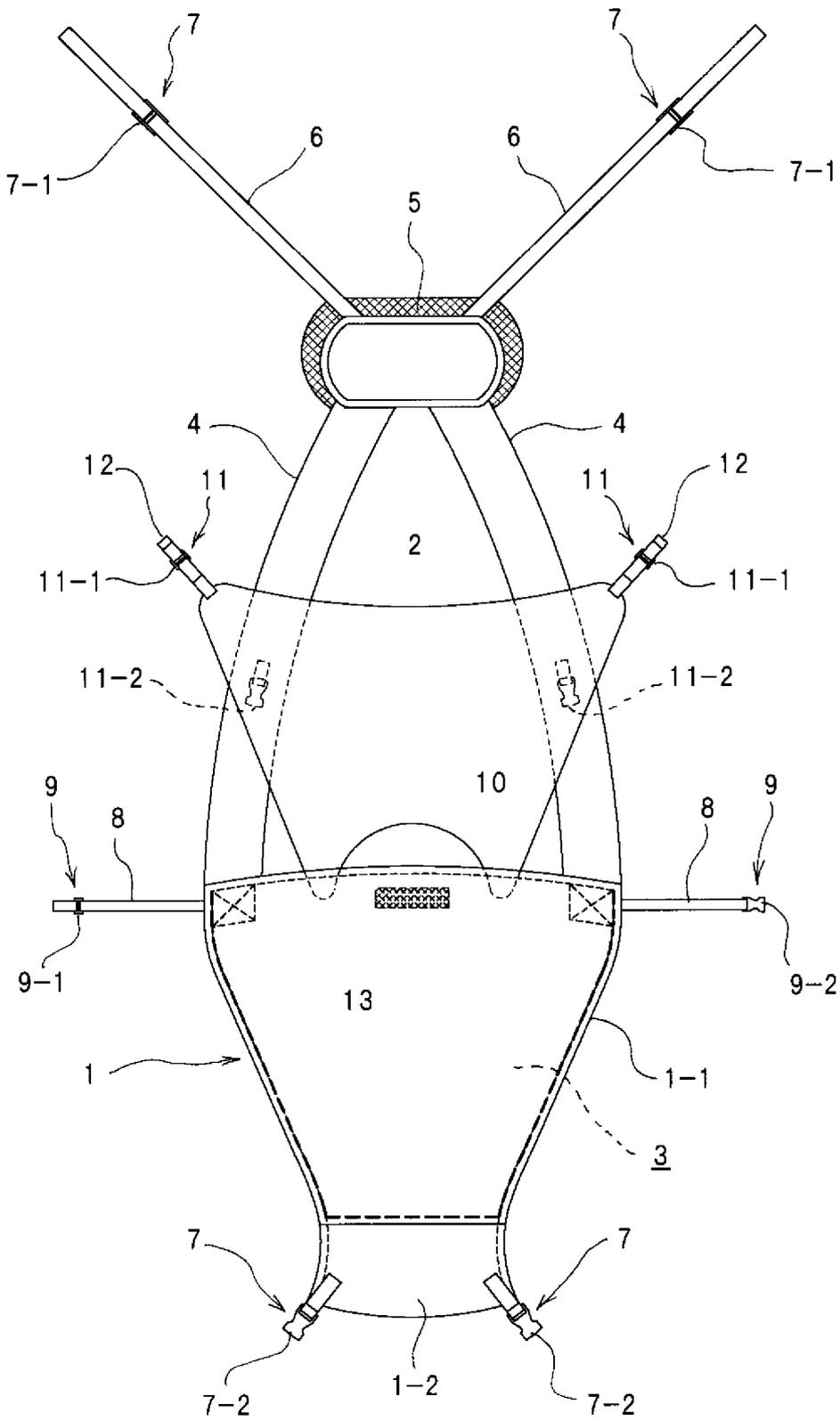
符号の説明

- [0035] 1:キャリア本体 1-1:背当て部
1-2:尻受け部 2:ヘッドサポート
3:収納部 4:肩掛けベルト
6:連結ベルト 10:開口部
11:連結具

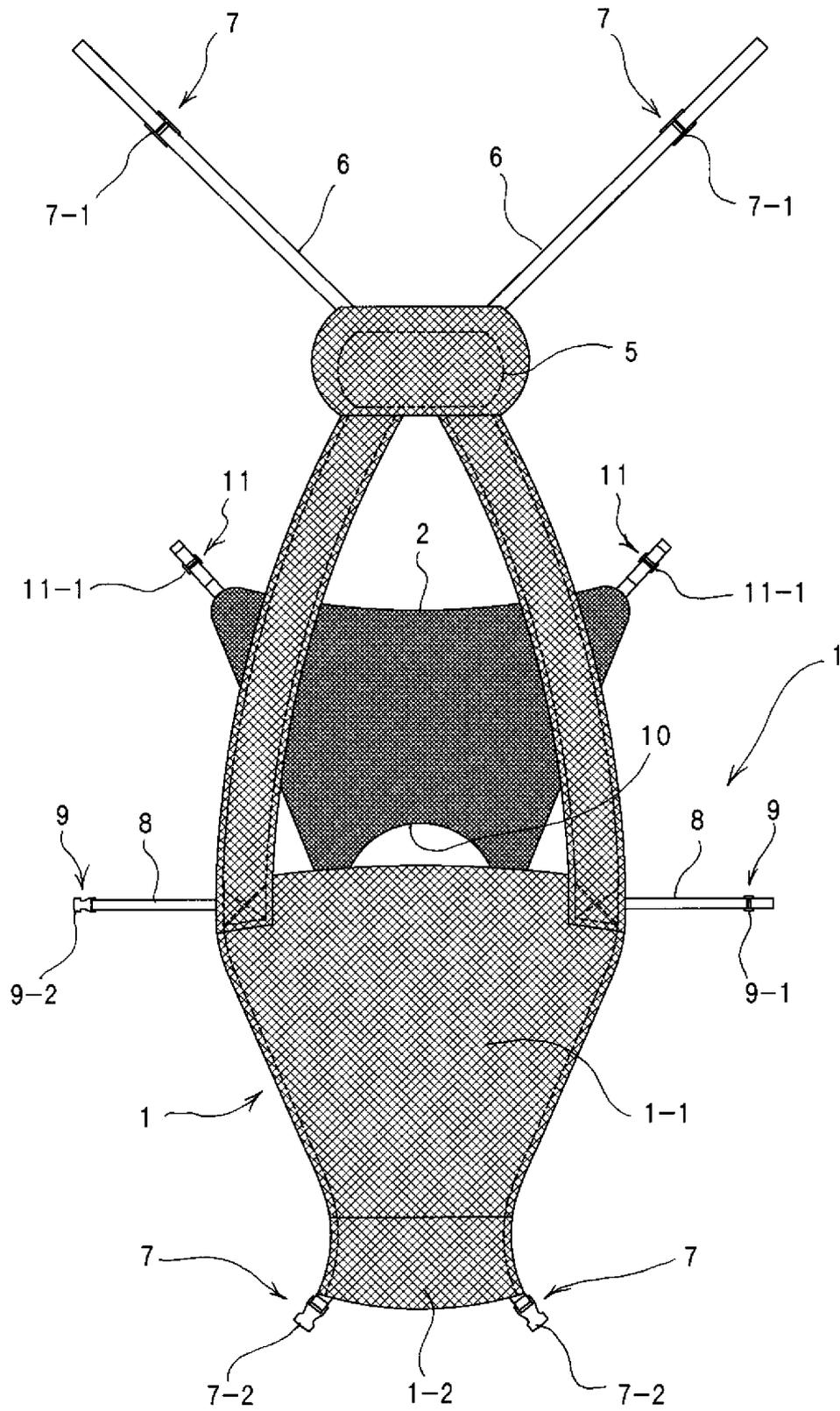
請求の範囲

- [1] 肩掛けベルトによって幼児を対面抱っこで保持しつつ、幼児の頭を支えるためのヘッドサポートを備えてなるベビーキャリアにおいて、
- キャリア本体の背当て部に上部開口の収納部を備えると共に、該収納部の開口部近傍にヘッドサポートの下端側を取り付けて同ヘッドサポートを前記収納部に出し入れ収納自在と成し、
- 前記ヘッドサポートは、柔軟なシート地から形成され、上端両側には両側の肩掛けベルトに係脱自在に連結するための連結具が備えられていることを特徴とするベビーキャリア。
- [2] 請求項1記載の収納部は、背当て部の表面に、同背当て部の上縁側を除くその周縁に沿ってシート地を縫着することによって、背当て部の表面側に形成されていることを特徴とするベビーキャリア。
- [3] 請求項1記載のヘッドサポートは、下端側を収納部の開口部内に取り付けると共に、該収納部から取り出して上端両側を肩掛けベルトに連結した時に、背当て部より上方に突出する下端側部分に適宜の大きさで上向きに挟られた開口部が設けられていることを特徴とするベビーキャリア。
- [4] 請求項2記載のヘッドサポートは、下端側を収納部の開口部内に取り付けると共に、該収納部から取り出して上端両側を肩掛けベルトに連結した時に、背当て部より上方に突出する下端側部分に適宜の大きさで上向きに挟られた開口部が設けられていることを特徴とするベビーキャリア。
- [5] 請求項1記載の両側の肩掛けベルトは、その一端側をキャリア本体の背当て部の上縁両側に縫着連結すると共に他端側をキャリア本体の尻受け部の両側に連結ベルト及び連結具を介して係脱自在と成し、且つ連結ベルトと肩掛けベルトとの間には使用者の背中略中央部位に当る背当てパットが備えられ、この背当てパットを介して両側の肩掛けベルトと両側の連結ベルトとが使用者の前記背中の略中央部において略X状に交叉するように縫着連結されていることを特徴とするベビーキャリア。

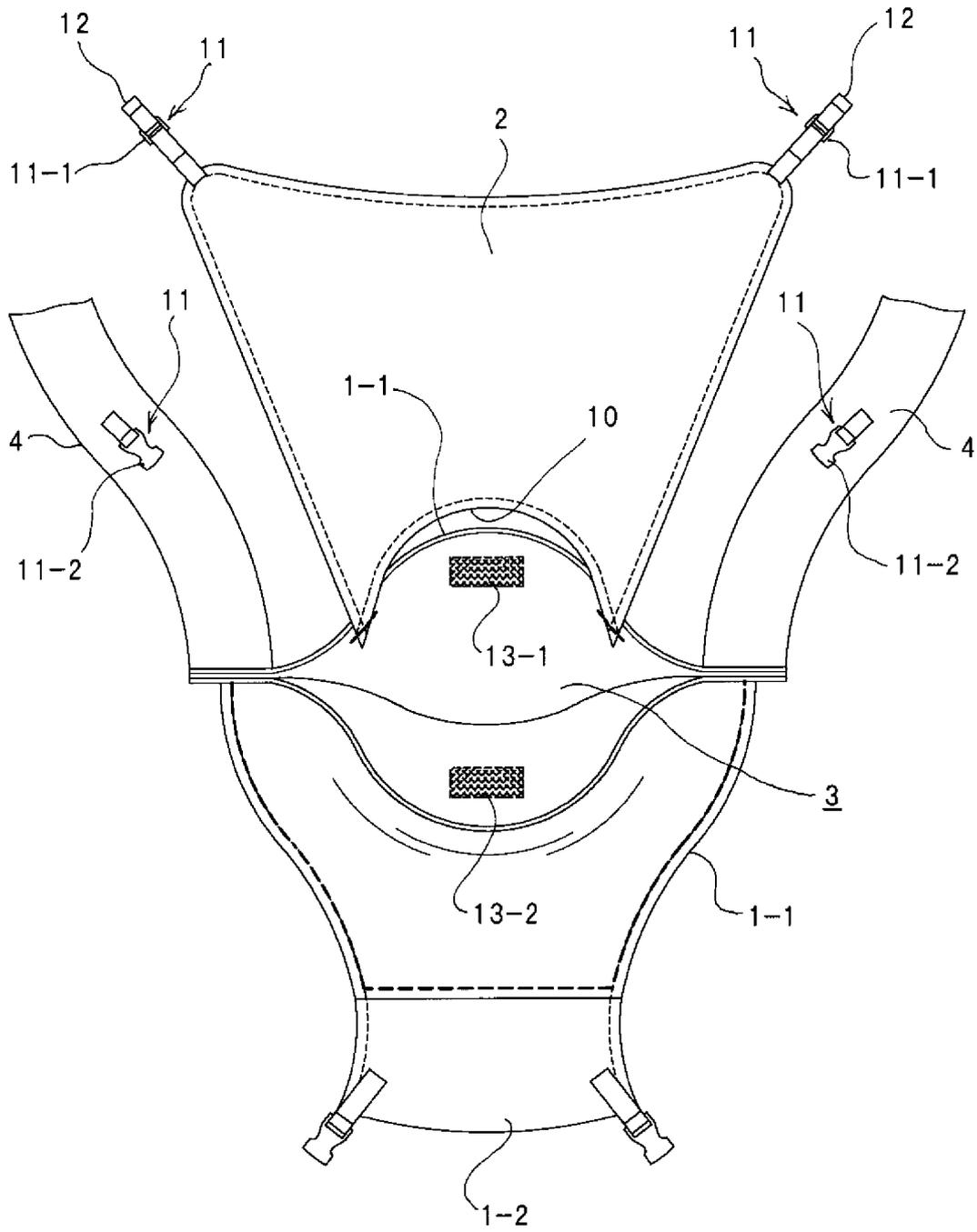
[図1]



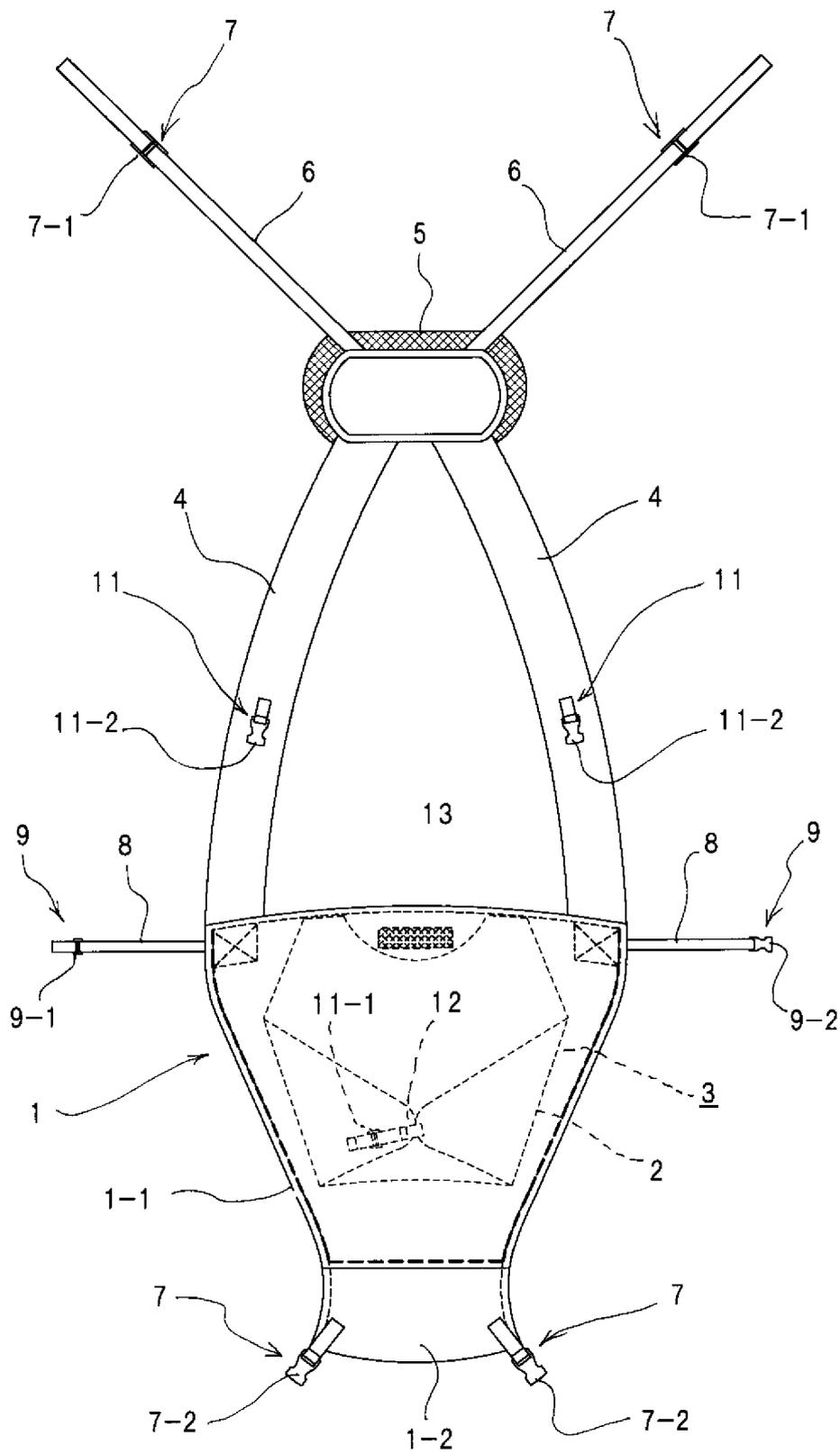
[図2]



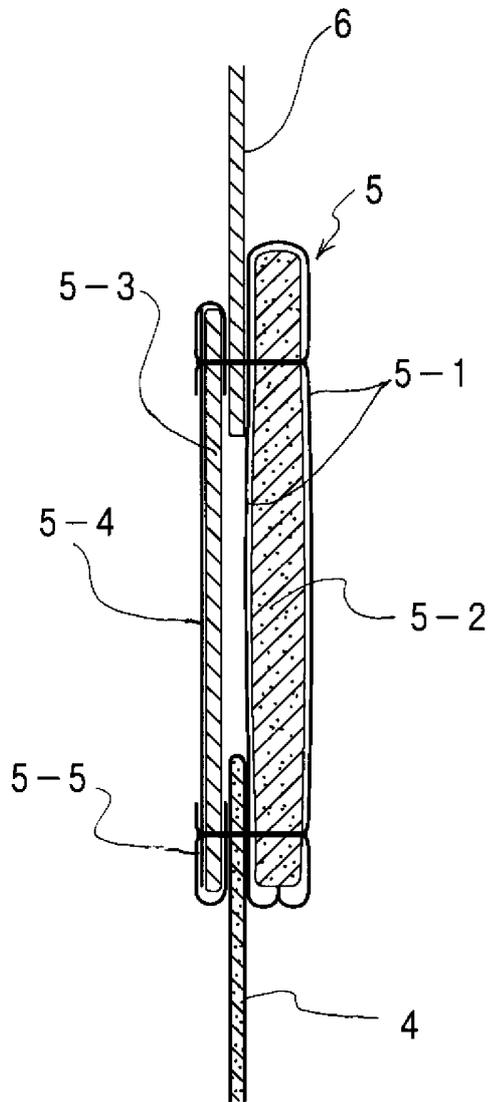
[図3]



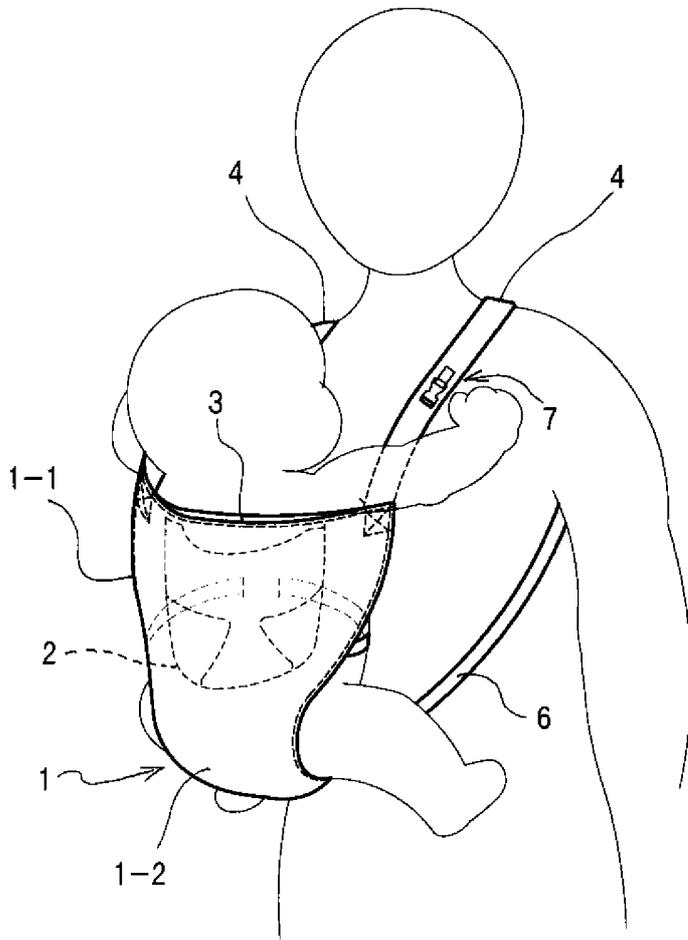
[図4]



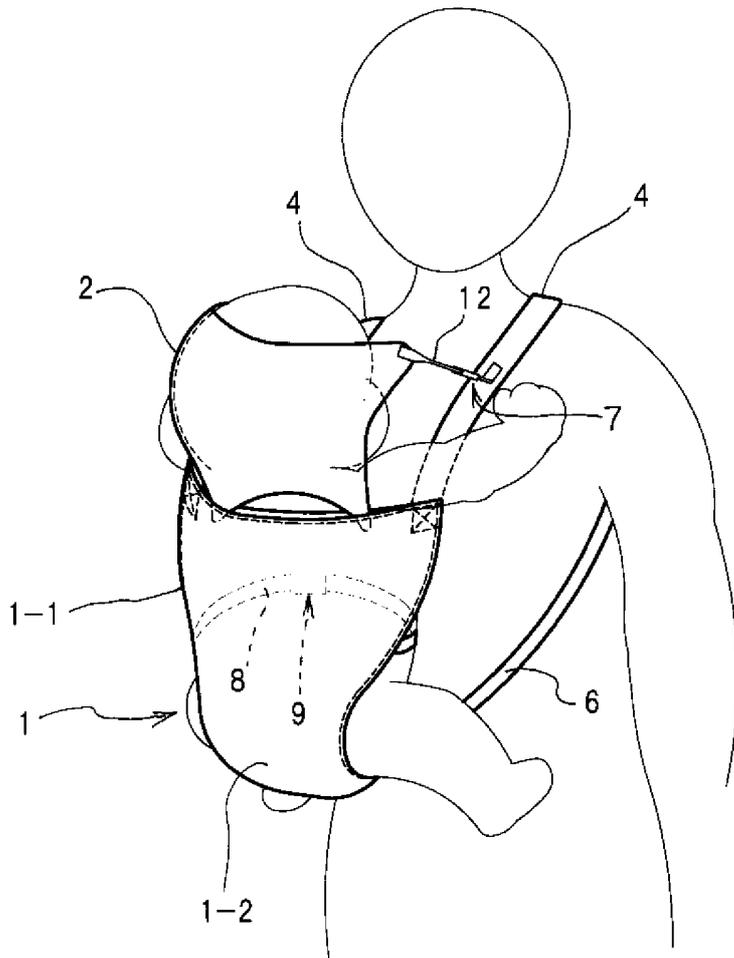
[図5]



[図6A]



[図6B]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2005/001205

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER Int. Cl. ⁷ A47D13/02		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED		
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) Int. Cl. ⁷ A47D13/02		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2005 Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2005 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2005		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 11-276311 A (Aprica Kasai Kabushiki Kaisha), 12 October, 1999 (12.10.99), Column 15, lines 10 to 29; all drawings & US 6257468 B1 & EP 931487 A2	1-5
Y	JP 10-276869 A (Lucky Industry Co., Ltd.), 20 October, 1998 (20.10.98), Column 3, line 49 to column 4, line 47; all drawings (Family: none)	1-5
<input checked="" type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 26 April, 2005 (26.04.05)		Date of mailing of the international search report 17 May, 2005 (17.05.05)
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office		Authorized officer
Facsimile No.		Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2005/001205

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 71163/1990 (Laid-open No. 31554/1992) (Nippon Eitekkusu Kabushiki Kaisha), 13 March, 1992 (13.03.92), Full text; all drawings (Family: none)	3, 4
Y	JP 9-19347 A (Baby Björn AB), 21 January, 1997 (21.01.97), Full text; all drawings & US 5732861 A1 & EP 752220 A1	5
Y	JP 11-225858 A (Combi Corp.), 24 August, 1999 (24.08.99), Full text; all drawings (Family: none)	5
Y	JP 2003-290000 A (Aprica Kasai Kabushiki Kaisha), 14 October, 2003 (14.10.03), Full text; all drawings (Family: none)	5

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl.⁷ A47D13/02

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl.⁷ A47D13/02

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2005年
日本国実用新案登録公報	1996-2005年
日本国登録実用新案公報	1994-2005年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 11-276311 A (アップリカ▲葛▼西株式会社) 1999. 10. 12, 第 15 欄第 10-29 行、全図 & US 6257468 B1 & EP 931487 A2	1-5
Y	JP 10-276869 A (ラッキー工業株式会社) 1998. 10. 20, 第 3 欄第 49 行-第 4 欄 47 行、全図 (ファミリーなし)	1-5
Y	日本国実用新案登録出願 2-71163 号 (日本国実用新案登録出願公開 4-31554 号) の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (日本エイテックス株式会社), 1992. 03. 13, 全文、全	3, 4

C欄の続きにも文献が列挙されている。

パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
 「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

26. 04. 2005

国際調査報告の発送日

17. 5. 2005

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)
 郵便番号 100-8915
 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

大山 広人

電話番号 03-3581-1101 内線 3386

3R

3026

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
	図 (ファミリーなし)	
Y	JP 9-19347 A (ベビー ビヨルン アクティエボラーグ) 1997. 01. 21, 全文、全図 & US 5732861 A1 & EP 752220 A1	5
Y	JP 11-225858 A (コンビ株式会社) 1999. 08. 24, 全文、全図 (ファ ミリーなし)	5
Y	JP 2003-290000 A (アップリカ▲葛▼西株式会社) 2003. 10. 14, 全 文、全図 (ファミリーなし)	5